

プレゼンテーション  
現代の作品 そのXLI(41)

# PRESENTATION TATLIN

- (故) 安生 慶 風の揺れる歌(1994)  
Violin 宮川奈々、Piano 松岡杏奈
- 加藤真一郎 —ヴァイオリン・デュオのための新作—(初演)  
Violin 保科由貴、日俣綾子
- 武澤陽介 ピアノ四重奏曲(初演)  
Piano 羽賀美歩、Violin 荒巻美沙子、Viola 對馬時男、Cello 夏秋裕一
- 寺内園生 アクティヴ  
Active (1996)  
Violin 印田千裕
- 藤田耕平 春(初演)  
Violin 恵藤久美子、Piano 中野洋子
- 森山智宏 Secret Couple I (2011)  
Flute 北川森央、Violin 瀧村依里
- 山口恭子 —ピアノ連弾のための新作—(初演)  
Piano Duo 瀬尾久仁、加藤真一郎 (演奏曲順未定)

日時 2014.6.19(木) 19:00 開演 (18:30開場)  
会場 調布市文化会館たづくり、くすのきホール  
(京王線調布駅下車)

主催 音楽文化協議会

後援 日本作曲家協議会  
一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会

チケット 3,000円 (学生1,000円)  
日本作曲家協議会会員の方は、  
当日、会員証を受付にてご提示の  
上、無料でご入場頂けます。

お問い合わせ 045-582-7045 (藤田方)  
presen41@yahoo.co.jp

「プレゼンテーション」の第1回演奏会は、1968年、「日本現代歌曲のタベ」として東京で開かれ、松平頼則、松葉良、石井五郎、伊藤隆太、塚谷晃弘などの作品が歌われた。彼らは、日本の伝統的語法を生かし現代的感覚をもつ音楽を作曲したいと考え、その後、ほぼ毎年、新作を発表し、新しいメンバーを迎え、今回で第41回を迎えた。これほど長く続いている作曲家のグループも珍しい。「プレゼンテーション」を主催する作曲家たちは、多様な手法を試みている欧米、特に東欧の作曲家たちとの交流を通して、彼らの作品を日本に紹介し、第38回では、台湾の作曲家の作品の日本初演も行った。今回から、山口恭子、武澤陽介の若手2名が同人として参加し、会のさらなる活動の展望を期待したい。あわせて、永年の同人メンバーであり、今年1月に亡くなった安生慶の追悼演奏も、若手演奏家により行う。

(田村 進・東京音楽大学名誉教授)

## 作曲家プロフィール

### 安生 慶 ANJYO Kei

1935年東京に生まれ、成城学園より桐朋学園音楽科に進み、管楽器を専攻。卒業後、作曲を棚瀬正民氏に師事。日本現代音楽協会会員。主要作品には「風影—二胡とオーケストラのために」、ViolinとPianoのための挽歌、「彩画—Violaのための幻想曲」、「弦楽四重奏曲」、「8 Violaのための詩曲」、「彼方からの風景—Harpのために」、「CelloとPianoとのために(＃2)」、「ピアノのための譚詩曲」、M・Sop. Pfのための「枯野」などがある。2014年1月永眠。

### 加藤 真一郎 KATO Shinichiro

1978年生まれ。桐朋学園大学卒業、同大学研究科修了(作曲専攻)。ロストック音楽大学、ミュンヘン音楽大学修了。文化庁在外研修員としてA・コンタルスキー教授のもとでピアノデュオの研鑽を積む。マレイドラノフ国際2台ピアノコンクールで日本人デュオ初となる第1位受賞。以来、国内外での演奏、NHKなどへの放送出演、都響、東フィル、京響との協奏曲の共演など。第13回芥川作曲賞ノミネート。現在、国立音楽大学(ピアノ)、桐朋学園大学(音楽理論・ピアノデュオ)非常勤講師。

<http://www.seokato.com/>

### 武澤 陽介 TAKEZAWA Yosuke

千葉県出身。東京藝術大学音楽学部作曲科を卒業。同大学院作曲専攻を修了。管弦楽曲「カントゥス・フィルムス」が藝大フィルハーモニアにより演奏される。アカンサス音楽賞を2度受賞。作曲を尾高惇忠、高橋裕、原田敬子、ピアノを長尾洋史の各氏に師事。平成26年3月まで上野学園高等学校非常勤講師及び東京都立総合芸術高等学校講師。現在、桐朋学園大学作曲理論学科非常勤講師。

### 寺内 園生 TERAUCHI Sonoh

ピアノを中野洋子と伊達純に、作曲と和声を寺内昭、川井学に学ぶ。寺内は1959年千葉に生まれ、高校卒業後渡独し、マリアフンク女史に作曲法を学んだ。代表作には、既出版のピアノ曲集「めざめ・静かな風」など、デリケートな感覚と想像力豊かな抒情的作品がある。ヴァイオリン・ソロ曲「アクティヴ」は、1999年2月にNHK・FMより放送され、弦楽四重奏曲「ナルシス」は、2010年5月にオペラ・ベルリンで演奏された。

### 藤田 耕平 FUJITA Kohei

1945年横浜に生まれ、東京藝術大学に在学中、作曲を池内友次郎氏と諸井誠氏、ピアノを金澤桂子氏に学ぶ。1979年、ソプラノとピアノのための「白鳥」が、ヴィオッティ国際作曲コンクールで、1、2位なしの3位に入賞。2003年には、ピアノのための「風の道」、2004年には、ピアノ連弾のための「雪女」が、ドボルジャーク没後100年を記念して、プラハとネラホゼベスで演奏されている。

### 森山 智宏 MORIYAMA Tomohiro

1977年生まれ。桐朋学園大学音楽学部研究科作曲専攻修了。作曲を北爪道夫、飯沼信義、鈴木輝昭、ピアノ・作曲を間宮芳生の各氏に師事。第68回日本音楽コンクール作曲部門入選。第17回奏楽堂日本歌曲コンクール(一般の部)第1位。フルーティスト間部令子氏、ピアノデュオ瀬尾久仁&加藤真一郎、東京混声合唱団、日本演奏連盟、指揮者山田和樹氏等より委嘱を受け、国内外で作品を発表。現在、桐朋女子高等学校音楽科教諭、同大学音楽学部講師(ソルフェージュ・作曲理論)。日本作曲家協議会会員。全日本ピアノ指導者協会正会員。

### 山口 恭子 YAMAGUCHI Kyoko

桐朋学園大学作曲理論学科卒業、同大学研究科修了。これまでに作曲を三瀬和朗、金子仁美、小鍛冶邦隆の各氏に、ピアノを林達也に師事。第72回、76回日本音楽コンクール第3位入賞、岩谷賞受賞。招待作曲家として第18回武生国際音楽祭に参加、武生作曲賞入選。作品はこれまで、広島HAPPY NEW YEAR、TOKYO TO NEW YORK、OTOの会等のコンサートで演奏されている。桐朋学園大学音楽学部附属子供のための音楽教室、桐朋女子高等学校、桐朋学園大学音楽学部非常勤講師。

